

長野県下伊那郡高森町

## 「いい会社をつくろう」を合言葉にIoT導入 改善提案活動で生産性向上を実現

産業・医療・エネルギー・電子機器等の分野で使用される磁気ブレーキや精密機械部品の加工・組立を行う。単なる部品加工だけではなく、設計開発、組立までを担うユニットメーカーを目指す。電磁ブレーキはオーダーメイドで開発から量産まで一貫体制で対応、今や世界大手ロボットメーカーに採用されている。既存事業にとどまらず、防災機器や宇宙関連機器などの新しい分野にも挑戦している。

●所在地 長野県下伊那郡高森町山吹1646-5

●設立 1966年

●電話/FAX 0265-35-8288/0265-35-8339

●資本金 3,500万円

●URL <http://kyowaseiko.jp/>

●従業員数 185名

●代表者 代表取締役社長 橋場 浩之



### 改善提案活動や10年以上継続するQC活動で生産性を向上

定年退職した元大手メーカー工場長を採用し、前職で培った経験とノウハウを活用。その社員が中心となり「3K（協和精工、改善、改革）」活動と名づけた改善提案活動を展開して、トヨタ生産方式など社外の知見を取入れることで生産性向上を図っている。6~7名の小集団「ホットサークル」によるQC活動を10年以上継続。これら独自の改善活動により大幅な残業時間の短縮を実現させた。残業時間の減少を生産性向上の効果と捉え、残業時間減少分は特別手当として社員に還元、働き方改革に寄与している。



従業員による3K活動

### IoT活用による工場稼働状況の「見える化」

東京工業大学と共同開発により工場のIoT化に取り組んでいる。従来は社員の経験と勘に頼った生産ラインの運営が行われていたが、各工作機械にセンサーを取付け、機械ごとの稼働状況をデータとして蓄積し、「見える化」を実現。生産計画と照らし合わせて改善活動に繋げている。経験と勘だけに頼らず、生産効率の向上のための課題解決の重要なツールとして活用している。



スマートフォンで稼働状況を確認

### 多様な人材の活用で新ダイバーシティ経営企業100選に選定

「人のつながり」を大切にしており、個別の事情や定年退職でUターンした人材を積極的に採用。多様なバックグラウンドを持つ中途採用者のノウハウを社内で活かし、事業拡大の機会と捉えて新たな分野にも積極的にチャレンジしている。例えば宇宙ステーション内の実験装置事業はこれら多様な人材の活用から広がった事業分野である。このような取組が評価され、新ダイバーシティ経営企業100選に選定された。また、「地域のリーディングカンパニーに」を経営理念に掲げ、地元の清掃や防災対策にも取り組んでいる。



中途社員の経験を新規事業に活用